

地元の魅力を再発見

鳳鳴・産業・東雲高

ツアー企画し案内

篠山鳳鳴、篠山産業面高校のインターナショナル部と、篠山東雲高校の生徒有志が18日、自ら企画した「一般向け丹波篠山市内旅行ツアー」丹波をまま歴史を歩むのガイドを務めた。ガイドを通して地域の魅力を再発見するにも、ツアー客と親れ合い、おもてなしの心を学んだ。

デカンショ節演奏も

ツアーの準備から、旅ガイド原稿は市文化財課、行社、みなぎ銀行、市商が監修するなど、産官学、工界光臨などが関わり、が連携した。

ツアーの企画段階で、鳳鳴と産業はディスカバーささやマルシアカ、東雲は種町並み案内クルーからガイドの仕事を学んだり、ツアーには終社やみ



篠山城跡天守台でツアー客にガイドする高校生たち。丹波篠山市北新町で。



篠山城跡で隣の篠山小学校に関するクイズを出題する高校生たち。



河原町を案内する高校生たち。

明、篠山小学校出身のさん(同、篠山中出身)は、小学生時代に知り合ったハスの復活作戦を紹介し、「また夏にきれいなハスの花を見に来てください」と呼びかけた。

また、篠山城大書院前で産業のさん(2年、水士中出身)は自由見学時のお勧めポイントとして、大書院の精巧な

城跡側の眺めが良い天守台は、鳳鳴のさん(1年、丹波中出身)が南馬出に触れた。最後に大書院内で、



篠山城大書院内でデカンショ節を披露する鳳鳴デカンショバンド

し、ツアーの盛り上げに役を買って。年一役買った。代の連うも客さんだったので、丁寧な言葉遣いを心がけたと達成感を

「城下町のことを調べる中で、たくさんの方があって、石垣の刻印がこんなに種類がある

2023年11月23日
丹波新聞